
「硬化性骨病変の CT 値と病理標本の骨梁面積の相関に関する研究」

に関するお知らせ

このたび、当院で検査を行った患者さんの画像データおよび病理標本を用いた以下の研究を実施いたします。

本研究は、埼玉医科大学国際医療センター臨床研究 IRB の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、残余検体やカルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2014年2月1日から2025年11月30日の期間に埼玉医科大学国際医療センターを受診し、骨硬化性病変に対してCTガイド下生検が行われ、病理診断を受けた患者さんが対象です。

2. 研究の目的

骨硬化性病変（CTで白く見える骨内に存在する病変）のCT値（CT画像で白く見える程度の指標）と病理標本の骨梁面積（骨の組織が占める面積）の相関はまだ不明瞭です。当院でCTガイド下生検を行った患者さんの画像および病理標本のデータを使用し、改めてその相関を調査します。

3. 研究期間

病院長の許可後～2026年6月30日

4. 利用または提供の開始予定日

研究実施許可後より1か月後程度。

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

過去に骨硬化性病変に対してCTガイド下生検を行った患者さんの画像データおよび病理標本を参照して解析します。

CTガイド下生検を行った際に撮影したCT画像、生検により得られた検体から作成した病理標本の顕微鏡写真を使用します。

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学国際医療センターにおいて、研究責任者である高橋大雄が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さん

のプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

過去に骨硬化性病変に対して CT ガイド下生検を行った患者さんの画像データおよび病理標本を参照して解析します。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

埼玉医科大学国際医療センター 画像診断科 高橋大雄（研究責任者）

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学国際医療センター 病院長 佐伯俊明

お問い合わせについて

ご自身の検体やカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

ご希望があれば、他の患者さんの個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲で、研究計画書や研究の方法に関する資料を閲覧することができますので、以下の連絡先までご連絡ください。

埼玉医科大学国際医療センター 画像診断科 高橋大雄

住所：〒350-1298 埼玉県日高市山根 1397-1

電話：042-984-4111（土日祝日を除く 8：30～17：30）

○研究課題名：硬化性骨病変の CT 値と病理標本の骨梁面積の相関に関する研究

○研究責任者：埼玉医科大学国際医療センター 画像診断科 高橋大雄